



見沼のほとり

第 4 号
令和6年7月1日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

経験から学ぶもの

校長 金子 慎一郎

6月1日から実施された市学校総合体育大会では、応援ありがとうございました。3年生を中心として、土呂中生らしく清々しく、はつらつと試合に臨みました。男子ソフトテニス部団体と個人、女子剣道部個人、男子柔道個人が県大会に出場します。他の県大会出場校は、部員が多く、3年生だけでレギュラーもベンチも埋まっていますが、土呂中は3年生以外も出場し、学年を越えた総合力で戦っていました。試合会場には校長と教頭がそれぞれの会場に分かれて応援に駆け付けましたが、どの部活動の生徒も輝いて見えました。県大会に出場を決めた男子ソフトテニス部の団体戦ではベスト4に入り、準決勝で市新人大会優勝校に負けて第3位で県大会に出場します。個人戦でも1組が県大会に出場します。今度は市の代表として戦ってきてほしいと思います。男子ソフトテニスの大会で観ると4校と対戦しています。団体戦は3チームの内2勝しないと次に進めません。その1勝がチームにとってとても大切なものになります。女子卓球部の団体戦では、5面展開で3勝したほうが勝ち上がりますが、今回の大会では4つの試合がフルセットの僅差で敗退となり、勝ち残ったチームはその後県大会出場を果たしたそうです。会場で応援していても、ポイントを取ると喜び、失うと励ます生徒の姿にとっても感動しました。残念ながら「1勝が遠かった」部もありましたが、なぜ目標に届かなかったのかを自分なりに分析をして、次なる課題に向けてスタートしてほしいものです。また県大会に出場する選手の皆さん、さらなる活躍を期待します。

さて、6月14日（金）に第1回土呂中学校学校運営協議会を開催させていただきました。当日は、委員の皆様には授業の様子を見学していただき、運営協議会の会長、副会長の選出を行いました。令和6年度の学校運営協議会の会長は、昨年度に引き続き鶴沢 勇様、副会長に川田 倫世様をお願いいたしました。会議の中では、校長から今年度の学校運営方針、グランドデザインについて説明を行い、改めて家庭と地域との関係が重要であると確認されました。また昨年度の熟議を受けて「地域とともにある学校づくり」を積極的に行うために「地域のボランティア活動等」を積極的に紹介し、生徒が自らの考えで地域の一員として活躍できるように取組を始めました。近いところでは、6月30日に東大宮商工会からの依頼で「街歩き謎解き」運営ボランティアという活動があり本校の生徒が地域商店街の催し物に協力いたしました。この後、避難所運営訓練の運営ボランティアや大砂土東公民館文化祭運営ボランティアなど公共機関のボランティア活動要請が届いていますので、参加できる活動に生徒の皆さんはぜひ参加してみてください。さらに、地域の皆様や保護者の皆様にも「生徒の見守りボランティア」、「フラワーボランティア」等のお願いをさせていただいています。生徒の見守りボランティアは学校周辺を散歩途中に見守っていただく活動です。交通安全や不審者被害に遭わないようにご協力をお願いいたします。また、フラワーボランティアは学校の緑化活動の一環として生徒と共に花壇にお花を植えたり、雑草を抜いたりを時間があるときに学校に来校して活動していただく活動です。ご協力いただけるようでしたら本校学校地域連携コーディネータまでご連絡ください。

中学生のボランティア活動を通して地域にどのような貢献ができるのか未知数ですが、参加した生徒が「何かに気づき」「地域と交流して得たもの」を貴重な体験としてこれからの学校生活に生かしていけたらと思います。